

会議名	令和3年度第4回 宝塚市環境審議会		
日時	令和4年(2022年)3月23日(水) 9時55分～11時10分	場所	宝塚市役所 2-4・2-5 会議室
出席者	委員	澤木委員、梅宮委員(Zoom)、遠藤委員、岡森委員(Zoom)、立石委員、栃本委員、足立委員、吉田委員、光村委員、今住委員、関口委員、高瀬委員	
	事務局	環境部長、環境室長、環境政策課長、同課係長、地域エネルギー課長、同課係長、同課係員	
内容(概要)			
開会あいさつ(環境政策課長)			
(会議の成立確認)			
1. 議題			
(1) 「宝塚の環境」について(報告)			
<p>【事務局より説明】</p> <p>(資料1、2、3に基づき、「令和3年度版宝塚の環境」について説明)</p> <p>昨年度と比較して、環境基本計画の進捗は若干向上しており、生物多様性たからづか戦略については若干悪化している状況である。</p> <p>各計画の指標の項目内容について、今後計画を改定していく際に参考にしたいので、項目が適切かなど、ご意見があれば事務局までお願いしたい。その他の内容についても、意見等あれば3月末までに連絡してほしい。</p>			
質疑応答			
<p>【委員】</p> <p>8ページに、項目として「多自然型工法による整備延長(荒神川)」とあるが、これは市が管轄している川だけということか？他の川については市は関与しないということなのか？</p> <p>【事務局】</p> <p>資料3の56ページに考え方を載せている。その中で現状・課題の認識とその中でできる取組として荒神川を指標に入れている。現状で取組可能なところでまずこれをやろうというスタンスで指標を設定していると認識している。</p> <p>【委員】</p> <p>「全計画延長990m」というのが完成されたら多自然工法が完了したというイメージを持ってしまう。これだと指標として本当に役に立つのかと疑問に思う。現実に農業用河川はコンクリートで3面張りされているところがたくさんある。この部分だけ見て「できた」となっても他の部分はより悪い状況になっているところもある。これでいいのかと疑問に思う。</p> <p>【事務局】</p> <p>そういった部分も含め、第3次計画の進捗を評価して、次の改定の時にどんな考え方で進</p>			

めていくか議論したい。

【会長】

今回はご意見として受け止めるということでもいいと思う。この指標は、おそらく市の計画でこの区間だけ予算化されているのであろうと思う。市内の他の部分の多自然型工法をどうしていくかは、別の部署での議論になるかと思う。それを受けて、この環境指標が事業化されているところだけを見ていけばいいのかどうかの議論を、次の改定の時にしていけたらよいのではと思う。

【会長】

質問だが、9ページの項目27「宝塚を美しくする市民運動参加団体数」は、実績値が現状値に比べてかなり低いが、これは何か理由があるのか？参加者数が減ってしまうのはコロナの影響でわかるのだが、団体数が減るのは何か背景があるのか？

【事務局】

令和2年度はコロナで一斉清掃が中止になった。参加団体のほとんどが、自治会となっている。自治会の中でコロナの状況でも清掃したいという自治会だけ参加した。

【会長】

これは「運動に賛成して登録している団体」という意味ではなくて、何団体参加されたかという参加者数にあたるような数値ということか。了解した。

「宝塚の環境」についてこの場での説明は一部だけだったので、また全体を見てご意見、ご質問等あれば事務局までお願いしたい。

(2) 生物多様性たからづか戦略の見直しについて

【事務局より説明】

(資料2に基づき、生物多様性たからづか戦略について説明)

現戦略の見直しを行わないといけないが、令和4年度に国家戦略、令和5年度にひょうご戦略の改定があり、これを確認してからたからづか戦略の改定を行いたい。戦略の改定にあたって、まず宝塚市の環境の現状を知る必要がある。現在、環境保護団体に、「生物生態系調査」を委託している。もうすぐその調査結果が提出されるが、市の事務局だけではこの分析ができない。ついては、「生物生態系調査分析作業部会」を設置し、この調査の分析をしていただき、市の傾向や対策を教えていただきたい。事務局案として、遠藤委員、栃本委員、今住委員の3委員に、この作業部会を構成いただき、ご協力をお願いしたいと考えている。この提案について承認をいただきたい。

質疑応答

【事務局】

追加の説明だが、「生物生態系調査」は平成30年度から委託している。市域の約130個所に生態系スポットを設定しており、毎年20～30スポットに分割して調査している。今で約半分が調査完了したところである。

【会長】

作業部会の設置については、審議会として異論はない。この部会で分析していただきながら、ご意見をいただきたいと思う。

【事務局】

第3次環境基本計画が令和7年度までとなっている。生物多様性たからづか戦略の見直しも5年から10年ということでこれも令和6年、7年くらいになる。生物生態系調査は今約半分終わった状況である。同時並行で、調査しながら、論点を出しながら令和7年度には最終的な整理をして、次の計画は令和8年度からスタートするという流れで考えている。具体的なスケジュールは改めてお示しさせていただく。

(3)第2次宝塚市地球温暖化対策実行計画の改定について（諮問）

【事務局より説明】

今回、目標の見直しになる。前回の会議で説明したが、今回正式に諮問する。

【諮問】

(諮問書を読み上げ、環境部長から会長に諮問書の原本をお渡しする。)

【事務局より説明】

(資料4に基づき、改定について説明)

今回お渡しした計画は、昨年7月に策定したものだが、今後議論していくうえで、「今はこういう状況である」というものとして見ていただきたい。次回会議のときにはこれを参考にご持参いただきたい。

今回丸ごと改定というわけではなく、目標部分を中心に見直しをするので、限定した見直しになる。

次の会議は令和4年度の5月頃になる予定である。審議が1回で終われば中間答申をいただき、その後パブリックコメントを実施する予定である。その後2回目の会議を行って最後の答申をいただき、パブリックコメントの結果公表とともに改定、という流れになる予定である。

質疑応答

【委員】

ネットで調べたところ、2019年度の速報値というのが挙がっていたが、宝塚市の家庭からのCO₂の排出量がかなり増えていたが、これはコロナの影響なのか？

【事務局】

2019年度はまだコロナではなかったもので、コロナの影響ではないと思う。確定値は国の報告などを待ってからになるのでなかなか出ないのだが、速報値は、統計数値が追いついていないので2018年度の確定値をとりあえず使って計算している。排出係数は最新のものを使うので、排出係数の影響かと思われる。2020年度はコロナの影響で増えると思っている。

【委員】

来年度に計画の改正を進めていくということだが、目標年度である2030年度までの期間が限られている。改定を進めながら、並行して進捗管理を進めていただけたらと思う。

【事務局】

承知した。

【委員】

これは市の対策なので「市が施策として進めることによってこれだけ下がった」ということが重要になってくると思う。今、目標値の設定の考え方を聞いていると、国の削減の割合に合わせて目標を立てているようであるが、市としての施策を積み上げて市はこうやっていくのだ、という考え方がなくていいのか？と感じる。電力の排出係数は、宝塚市に関係なく勝手に電気事業者が下げることなので、宝塚市としては関与できない部分であり、できることは何もないと思う。行動計画の対策のところ、市民の活動量をどう下げるのか省エネをどうするのかなど「こうすることによってこれだけ下げる」ということが載っていない。市が関与できずに下がる部分と、市民が取り組むことによって下がる部分とを分けて示すほうが分かりやすいと思う。せっかく作るのであれば、市民がこれだけ頑張ればこれだけ下がる、というところを示していただきたい。

【事務局】

貴重なご意見であり、市もそのように感じている。ただしそこまで見直しをするとまた最初から作り直すように相当時間を要する。今回の計画見直しではそこまで考えてはいない。この計画の対になるもので、「宝塚エネルギー2050ビジョン」でははっきり書いているが、この計画はバックキャスティング方式でやっている。現状の積み上げではその目標に到達できないであろう、なので高い目標を掲げて技術やテクノロジーや国の施策も変わっていく中で最新のものを取り入れて、目標を目指していく、という手法をとっている。今回の計画のほうも、具体的に積み上げてやっているものではなく、先に目標ありきでその時できる施策をとっていく、という手法である。「市でこれだけやったらこれだけ下がった」というのを計算していくのは難しい。具体的に目標を掲げて積み上げていく、というのは課題だと思っている。おっしゃられることはごもっともだと思うが、状況はそのようなところである。ご意見として承っておく。

【会長】

「宝塚の環境」の中で環境基本計画の目標達成状況があるが、「温室効果ガス排出量」や「エネルギー消費量」「ごみ総排出量」など地球温暖化対策実行計画の対策の延長としてあらわれる指標がいくつか出てくる。実行計画の対策がこの指標のどの部分に反映されるのかという関係図みたいなものを示していただき、関係性が分かるようになればいいと思う。「これを頑張るとこの指標の数値が下がる」など、関係性が分かりやすくなるようにしていただけるとよいと思う。内容をわかりやすく伝えようというのは計画策定時にもさんざん議論した部分である。そういった工夫もしていただけたらと思う。

閉会

【会長】

それではこれで閉会とする。